

三鷹市の災害時の福祉

内田 元 大脇 優佳 近藤 慶一
白木 大地 野村 かりん 益野 将伍
百瀬 利一 吉田 沙織

杏林大学医学部1年 Dグループ

【目的】

日本は、地震の発生が世界の1割を占める世界有数の地震国¹⁾である。地震が起こった際だけでなく、事前の対策が必要であると考えた。どのような対策が講じられているのか調査するとともに、広く知ってもらうことを目的とし、調査を試みた。

【方法】

三鷹市で想定される、地震・火災・水害のうち、被害が大きいと考えられる地震・火災に重点を置き調査を進めた。調査は2016年8月に三鷹市役所において聞き取り調査、9月上旬に三鷹市内の現地調査、9月下旬に三鷹市役所において聞き取り調査を行った。

【結果及び考察】

東京都都市整備局では「あなたのまちの地域危険度」、三鷹市では「三鷹市防災マップ」、「三鷹市浸水ハザードマップ」が作成されている。「あなたのまちの地域危険度」によると、三鷹市にも井の頭地域など危険度の高い地域が存在する。現地調査から、ブロック塀や電柱、急な坂道、細

い道など危険の原因と思われるものが存在した。これらに対し、三鷹市では、ブロック塀を生垣に、電柱の地中化、非難行動要支援者名簿の作成、セットバック等、複数の対策を講じていた。

被災時の対策としては、避難場所・避難所、福祉避難所の整備が行われている。避難場所は、一時避難場所・広域避難場所に分類され、二次災害から逃れるため、一時的に避難をする場所²⁾、避難所は自宅の倒壊などのため、自宅での生活が困難になってしまった場合、またはこれから被害にあう可能性が大きい場合などに、一時的に生活を送るための屋内施設²⁾である。食料も2万2千人分3日分蓄えられている。

このように三鷹市では事前の対策を行い、事後の対策を準備している。自助共助公助、という視点から考えても、市民が防災マップを確認し、防災の意識を高めていくと良いのではないだろうか。

【参考文献】

- 1) 東京都都市整備局, 平成25年9月, あなたのまちの地域危険度
- 2) 三鷹市総務部防災課, 三鷹市防災マップ